



地域企業と連携したPBLプロジェクト



～富山オープンファクトリー X TPU教養ゼミ～

リ オリガ、碓井 エリザベス
教養ゼミI (26名) で参加



背景

トミファは、富山県のものづくり企業の認知度向上、若者の県外流出抑制、そして地域社会・もの作り企業の発展への貢献を目的としているプロジェクトである。若者の考えや意見を取り入れ、時代をつなぐ課題解決を目指し、大学生と企業が共同で企画・運営を行った。

スケジュール

4月17日～ 顔合わせ、企業の課題提示
5月8日 エ場見学(企業の事業を知る)
6月5日 中間発表(グループごとに企業から
提示された課題に対しての提案を発表)
6月19日～ イベント準備
8月3日 イベント参加

合同イベント

会場: TOYAMAきらり 9階
日時: 2025年8月3日
参加企業: 全10企業
(株)青木工業所、コンチネンタル(株)、(株)田村製作所、(株)チューエツ、フレンドリー・エレバテック(株)、(株)山森製鎖、(株)ユニゾーン、富山第一銀行、北陸銀行、富山信用金庫
来場者数: 約1000人
(7月31日～8月2日の工場見学人数も含む)

企業紹介

(株)青木工業所



(株)青木工業所が製作したクレーンゲームのような機械を展示・体験してもらい、景品として多機能ペンをプレゼントした。見学者がスムーズに工場見学ができるよう見学マップを作成した。

コンチネンタル(株)



工具を使わずに鉄を曲げる技術をランタン作成を通して体験してもらった。普段扱わない素材に触れ、もの作りの楽しさと達成感を味わう貴重な体験だった。コンチネンタル(株)がどのような企業なのか、来場者に紹介した。

(株)田村製作所



「油圧」とはどんなものなのかを、油圧シリンダーを組み立てる体験を通して知ってもらった。企業の方に機材の紹介をしてもらい興味を持ってもらえるよう努めた。子供向けに行っている体験型工場見学の提案と企業紹介のパネル作成も行った。

(株)チューエツ



紙から本を作る製本体験を行った。簡単に体験することができ、順番待ちがでるほど多くの来場者が訪れた。印刷技術をわかりやすく理解してもらうため、大学生と企業で話し合いを重ね、工場見学プランの改善を行った。

フレンドリー・エレバティック (株)



エレベーターの製造過程を可視化し、身近なエレベーターの仕組みや構造を知ってもらう展示を行った。普段体験できない緊急停止ボタンを押せる体験を提案し、興味を持ってもらうよう努めた。見学内容の見直しで、スムーズな見学となった。

(株)山森製鎖



ネックレスをはじめとするアクセサリ制作体験をした。来場者が手を動かしながら作業することができ、企業の行っている事業が伝わった。アクセサリを作ることで、より身近な事業だという実感を抱いてもらえた。地域の方からの認知を高めるために工場見学の提案を行った。

(株)ユニゾーン

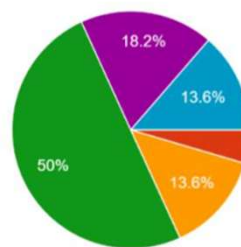


企業が所有しているトラックのラッピングに使用するイラストを来場者の方々に描いてもらった。様々な金属メッキサンプルを手で触れることで、メッキがより身近に感じてもらえるように努めた。どちらも体験型の展示であったため気軽に参加してもらえた。

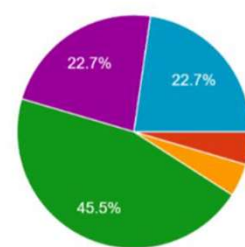
イベントに参加した 大学生へのアンケート(一部)

- 1=まったくそう思わない
- 2=そう思わない
- 3=あまりそう思わない
- 4=ややそう思う
- 5=そう思う
- 6=かなりそう思う

11. 不確実でも行動に踏み
22件の回答 出す勇気が出てきた



7. 新しいことに挑戦する
22件の回答 意欲が高まった。



【参加した企業の感想】

- ・ 学生から出た意見により、企業を知ってもらうきっかけになったのではないかと思います。(株)ユニゾーン
- ・ 企業と学生の本気があり、良い取り組みになった。互いの成長につながったと思います。(コンチネンタル(株))

【大学生の感想】

- ・ 中小企業の活動を肌で感じ、富山の事業を知れてよかった。
- ・ チームワークの大切さと、相手の意見を尊重することを学べた。
- ・ 新しいことに挑戦する自信につながった。

【結果・考察】

- ・ 富山県の製造業に関わる中小企業を知ることができた。
- ・ 大学生と企業が共同で課題を解決することで、お互いにとって新しい発見や視点を持つことができた。
- ・ 一つの大きなイベントを成し遂げられるという自信が付き、今後の活動の糧となった。

